

助成事業実施報告書

団体名 特定非営利法人 子どもセンター「パオ」
代表者・役職名 氏名 理事長 多田元

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

「びあ・かもみーる」スーツ購入事業(面接や冠婚葬祭に備えて)

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

当施設は、虐待により心身共に傷ついた少女が社会に出る準備をその子のペースでゆっくりできるように働くことを前提としない自立援助ホームです。働くことを前提としない自立援助ホームは数少なく、当施設の社会的意義は大きいと自負しております。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

当施設の利用者は、虐待により心身共に傷ついた少女たちです。利用者の子どもたちはスーツなど畏まった服を持っていません。しかしながら就職の面接など社会人としてスーツや黒の靴の着用を求められる場合があります。施設には、面接に行く子どもに貸し出すスーツがありますがサイズ展開は少なく用意している標準的なサイズでは合わない利用者もおり困っています。またスーツは面接だけでなく冠婚葬祭の時にも使えますので社会人として1着は必要な物ですので旅立つ子どもへスーツ、靴を贈りたいと思います。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

貸出用のスーツと靴のサイズを補充をします。また施設を旅立つ子どもに各自のサイズにあったスーツと靴を購入します。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

通信制高校の式典参加にあたり今回購入して頂いたスーツを着用したという例が既に2件ありました。学校より式典の参加には制服又はスーツの着用を義務づけられており、着回しのできない制服の購入はできませんが、今回購入していただいたスーツ、パンプスなどで全身を揃えて出席することができ、子どもたちも晴れ晴れしい気持ちで式典に参加することができました。また、今後、アルバイトの面接、就職活動等でも活用させていただきます。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

スーツ購入後、退所者がおりませんが、退所する子どもたちには、スーツ一式をプレゼントしたいと思います。退所する毎にスーツの補充が必要となります。今後も皆様のご支援に支えられながら、この事業を継続していきたいと思っております。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし



